

JABEE-日工教共催「国際的に通用する技術者教育ワークショップシリーズ 第5回」

学習・教育到達目標（アウトカムズ）の達成度の評価

1. **開催の趣旨**：教育の質保証のためには、学習・教育到達目標の設定とその達成を図るカリキュラム設計（Plan）、カリキュラムに沿った教育の実施（Do）、教育成果としての学習・教育到達目標の達成度評価（Check）、これらの結果を踏まえた改善（Act）のいわゆるPDCAによって、教育システムを継続的に改善していくことが必要です。中でも学習・教育到達目標の達成度を適切に評価することが、質保証において最も重要です。適切な評価が行われるためには、評価方法の妥当性と共に、学習・教育到達目標が具体的で評価基準が明確であることが必要です。JABEEでは、認定基準3（2012年度改定基準）において、各科目の達成度評価および学習・教育到達目標の総合的な達成度の評価について適切な評価方法と評価基準を定めて実施することを求めています。さらに、その方法や基準自体も年々改善していく必要があります。

プログラムが学習・教育到達目標の評価方法を具体的に定める上で、専門知識の学習を目的としている場合の評価方法は一般的に試験に依っている場合が多いと思われそうですが、それ以外の汎用的能力（generic skill）の達成度の評価方法としてはルーブリックが知られています。また、専門分野特有の能力の達成度については、卒業研究や卒業制作の成果発表によることが多いと思われそうです。

このワークショップでは、日本では経験の少ないルーブリック評価法について学び、実際にルーブリックを作成してみると共に、カリキュラム全体の学習・教育到達目標の個々の項目に対して、これら種々の評価方法を適切に組み合わせて妥当性の高い評価方法を定めることについて実習します。

2. **テーマ**：『学習・教育到達目標（アウトカムズ）の達成度の評価』
3. **講師**：佐藤浩章准教授（大阪大学全学教育推進機構／教育学生支援センター副センター長）
→「大学教員のためのルーブリック評価入門」（翻訳）を監訳
4. **開催日時**：2015年3月28日（土）10：00～17：00
5. **会場**：芝浦工業大学 豊洲キャンパス教育棟3階 301教室
<http://www.shibaura-it.ac.jp/access/> （各キャンパスへのアクセス）
<http://www.shibaura-it.ac.jp/access/toyosu.html> （アクセス豊洲キャンパス）
6. **プログラム**：別紙参照
7. **主催**：一般社団法人日本技術者教育認定機構(JABEE)、公益社団法人日本工学教育協会（共催）
8. **後援**：文部科学省、（経済産業省：後援申請中）

9. 募集人員：70名（先着順受付）

10. 申込方法：JABEEのWebサイトに掲載してある申込書にご記入の上、regist@jabee.orgまでご送付ください。

11. 申込期限：2015年3月20日（金）（期限厳守）

12. 参加費：2万円（教材資料・昼食込み）

ただし、下記のいずれかに該当する方は1万5千円

- ・ JABEE認定のプログラムの関係者
- ・ JABEE正会員である学協会(注)の個人正会員

（注）<http://www.jabee.org/outline/member/> の社員名簿にある学協会

- ・ 日本工学教育協会の個人正会員

13. 支払方法：事前振り込み 又は 当日現金支払い（領収書渡し）

【振込先】

みずほ銀行芝支店 普通預金口座

口座番号：3667607

口座名義：一般社団法人日本技術者教育認定機構

シャ)ニホンギジユツシャキョウイクニテイキコウ

※できるだけ事前の振り込みをご利用願います。

14. 連絡先：JABEE事務局（regist@jabee.org；03-5439-5031）

日本工学教育協会 事務局（tsukuno@jsee.or.jp；03-5442-1021）

以上

JABEE-日工教共催「国際的に通用する技術者教育ワークショップシリーズ 第5回」
学習・教育到達目標（アウトカムズ）の達成度の評価

【プログラム】

- 9:30 受付開始 (順次、指定座席に着席ください)
- 10:00 主催者挨拶
- 10:05 「科目およびプログラムの学習・教育到達目標の評価」
三木哲也 (電気通信大学)
- 10:25 「ルーブリック評価入門」の講義: ルーブリックとは?、ルーブリックの作り
方、既存ルーブリックのカスタマイズによる作り方、使い方、普及法
佐藤浩章准教授 (大阪大学全学教育推進機構/教育学生支援センター副センタ
ー長)
- 11:25 「ルーブリック作成に関するグループワークの課題および進め方」
工藤一彦 (東京電機大学)
- 11:40 メンター/ファシリテータの紹介
- 11:50 「グループワークの効果的な進め方」
大石加奈子 (東北工業大学)
- 12:10 自己紹介 (アイスブレイク)
- 12:25 昼食
- 13:10 グループワーク (課題遂行: ルーブリック作成、プログラムの学習・教育到達
目標の評価法設計)
- 15:10 コーヒーブレイク、発表資料まとめ
- 15:30 発表、質疑 (4グループ程度)
- 16:30 総括・講評、質疑応答
- 17:00 終了

メンター/ファシリテータ (予定)

工藤一彦 (東京電機大学)、三木哲也 (電気通信大学)、増田陳紀 (東京都市大学)、
市坪誠 (長岡技術科学大学)、井上雅裕 (芝浦工業大学)、大石加奈子 (東北工業大学)

注: ※ 開始、終了時間以外の途中の時間は多少前後する可能性があります。

※ 都合により時間が一部変更になることがありますので予めご了承ください。

※ グループワーク題材につきましては、参加者には事前にファイルをお送りします
ので、一読され、「Ⅲ.本研修でやること」について腹案を考えてきて下さい。そ
の際に生じた疑問点はメモして、当日のグループワークの際にグループのメンバ
ーおよびメンター/ファシリテータに質問してください。

※ プロジェクターで発表いただく予定ですので、パソコンを持参して頂ければ幸甚
です。

以上